平成２８年度　学校自己評価システムシート　（　県立小川高等学校　全日制課程　）

目指す学校像	伝統校としての自覚を持ち、学習に重きを置き、行事や部活動等に主体的にチャレンジする生徒を育成する。
重点目標	１進学選抜クラスを核とする普通科全体の学力向上に努め、個々の生徒のキャリア意識の向上と進路指導の充実をはかる。 ２基本的生活態度の確立をはかり、学校行事、部活動等に主体的に取り組む生徒を育てる。 ３保護者や地域との連携をはかり、開かれた魅力ある学校づくりを推進する。

達成度		
A	ほぼ達成	（８割以上）
B	概ね達成	（６割以上）
C	変化の兆し	（４割以上）
D	不十分	（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	４名
	生徒	４名
	事務局（教職員）	９名

※　重点目標は３つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。　※　番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価

年度目標

番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	【現状】 生徒は落ち着いて概ね意欲的に授業に取り組んでいる。 普通高校の特徴である偏らない学力を向上させることにより、生徒たちの多様な進路希望は概ね実現されている。 【課題】 生徒の進路への意識を高め、学校全体で生徒の学習環境を一層充実させ、確かな学力の向上を図る取り組みが必要である。そして、継続実施されるプロジェクトを活用して、より高い進路希望の実現を図る。	１　生徒の学力を把握し、基礎学力を向上させるためのきめ細かい指導。 ２　進学選抜クラスの進路実現に向けた体制作り。 ３　３年間を見通した進路ガイダンス、進学力向上プロジェクト等により、多様な進路希望に応じた指導の充実 ４　進学希望者に対する指導の充実。	１　スタディーサポート・実力テストを上手に活用し、生徒の学力を把握し対策を立てる。小テスト・補講などを丁寧に実施し、学力向上を図る。また進路希望に対応した教育課程の選択プランを充実する。 ２　学年・教科・委員会と連携し進学選抜クラスの生徒の学習環境の整備に努める。 ３　計画的にガイダンスを行い的確な情報を提供し、生徒の進路意識を高める。各進路希望に応じた小論文指導・面接指導・対策講座を実施する。 ４　スタディサプリの円滑な運営、学校独自の進学対策講座を行う。３年生３学期の授業や考査の見直しを行う。	１　全学年・教科による学力把握と分析、基礎学力向上の取り組みが丁寧に行われたか。 ２　各教科と連携しつつ、学年の中で進学選抜クラスの生徒の学習意欲を高め学習できる環境を整えることができたか。 ３　生徒の意識を高めながら、計画的・効率的にガイダンスや指導を行えたか。 ４　生徒の現状と希望を踏まえた対策講座を実施できたか。
2	【現　状】 生徒は穏やかで真面目な学校生活を送っている。 【課　題】 規律、自主性のある学校生活を土台に、学校行事、部活動等に主体的取組、充実した学校生活を送らせるよう指導する。そのために学級、学年、生徒指導部の連携をさらにすすめる。 文化祭等の各種行事の準備、指導を工夫、改善する。	１ 学級・学年・生徒指導部の連携と補助着、スカート丈の指導の徹底 ２ 安全安心な学校生活をするための教育の推進 ３ 生徒主体による学校行事の推進と指導体制の改善	１ 共通理解に基づき、担任を中心に学年・生徒指導部で連携して日常的な生活指導を全職員で行う。 ２ 交通安全、薬物防止、盗難防止、防災、情報モラル確立を推進する。 ３ 生徒の要望を吸い上げ、生徒主体による学校行事、特に文化祭は全職員で指導し、より多くの生徒の活動の場をつくる。	１ 日常の挨拶や集団生活のルールが守れるように連携して指導できたか ２ 安全に生活するための教育（交通安全、薬物防止、盗難防止、防災、情報モラル確立）を実施できたか。 ３ 生徒の要望を吸い上げ、生徒主体による学校行事を多くの職員で指導し多くの生徒の活動の場をつくれたか。
3	【現状】 学校説明会等の実施時期や内容を工夫すると共に、中学校主催の進路説明会にもできるだけ参加して、募集定員の確保に努めている。また、ＰＴＡ行事を精選し、より多くの保護者が関わりやすいように改善している。さらに、ＰＴＡニュースやメールシステムを活用し、適切な情報発信に努めている。 【課題】 本校の魅力を的確に伝えられるように、ホームページ等の更新に工夫を加える。	１　学校説明会、個別相談会、授業公開、中学校訪問、中学校進路説明会の効果的な実践。 ２　保護者と連携しながらの教育環境の改善・向上。 ３　保護者や地域の人々に、本校の様子が伝えられるようなホームページやメールシステムの充実。	１　職員全員が積極的に参加・協力して、本校の魅力を伝えていく。 ２　登校指導や文化祭などの学校行事を中心に協力していく。 ３　メールシステムの活用やホームページの更新回数を増やすことで、新しい情報を積極的に発信していく。	１　生徒募集に関わる行事に全職員が積極的に参加・協力して取り組み、充実したものになったか。 ２　登校指導や文化祭などの学校行事を保護者と共に協力して実施できたか。 ３　メールシステムやホームページの更新を適切に行って、情報を発信できたか。

年度評価（　１　月　３０　日　現在）

評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
１ スタディーサポート、実力テストを活用し、生徒の学力把握と、家庭学習定着への動機付けを図った。成績不良者に対し、日常的な取組と定期的な補講を通じ基礎学力の向上を図った。教育課程上の課題を職員間で共有し、改善することができた。	A	【課題】 １ 学習環境のより一層の充実と学力向上に向けた取組の継続。 ２ 進学選抜クラスの過去の取組を生かしたより高い進路希望の実現。 ３ 進路実現のための新教育課程の検討
２ 進学選抜クラス委員会を中心に、学年、各教科と連携して学習環境の向上に努めた。自主学習をする生徒が日常的に見られるようになるなど学習意欲の向上を図ることができた。	A	【改善策】 １ 高校大学入試改革を念頭に、今後の教育課程を検討していく。 ２ 進学指導について、進路指導部、進学選抜クラス委員会等との連携強化。
３ 多様な進路希望に合わせて、学年毎の各種ガイダンス、小論文指導、面接指導、対策講座を計画的に実施した。	A	３ スタディサプリ、模試、実力テスト、各種対策講座などの充実と活用方法の検討。
４ スタディサプリ、模試、予備校講師による特別講座、学校独自の進学対策講座を実施し、一般受験での進学対策を強化した。	A	
１ スカート丈の指導に対して全教員で行っていく方針が確認され、服装・頭髪指導を学校全体で取り組み、指導を徹底することができた。今年度導入した指定補助着で違反者が激減した。	B	【課題】 １ 来年度も服装・頭髪指導を中心に、生徒の規範意識の向上を目指すが、引き続き、スカート丈の指導の徹底が課題となる。また年々増えてきたSNSに関係したトラブルも課題となる。
２ 安全に生活する教育については、交通安全や薬物防止等を行った。それぞれ工夫した講演会等を実施し、生徒もよく話を聞いていた。	A	２ HRや各行事のリーダーの育成と生徒会活動や学校行事の教育的効果の理解が不十分であった。 【改善策】 １全職員共通理解の下、服装頭髪指導を徹底していくまたITやSNSの教育も実施する。
３ 委員会活動については、どの委員会も出席率が高く、明確な目標を設定し効率的に動いていた。また、教職員も協力し、足並みを揃えて指導できた。	A	２ 生徒のリーダー育成になる企画を考え実行に移す。行事を学校全体で取り組む体制を整備する。
１ 学校説明会や個別相談会に全職員が３回以上を目標に参加・協力することができ、充実したものになった。	A	【課題】 １　全職員が協力して、学校説明会や中学校訪問等を通して本校の魅力を中学生やその保護者に伝え、募集人員の確保に努める。
２　学校行事に参加した保護者と協力・連携して実施することができた。	A	２　ＰＴＡ行事の見直し、保護者へのＰＲを工夫し、より活発なＰＴＡ・後援会活動を目指す。 ３　全職員がホームページを更新すること。
３　必要な時期にメール配信やホームページの更新を適切に行い、有益な情報を発信できた。	A	【改善策】 １　生徒募集に関する行事には、年度当初から計画的に職員に必要参加回数を提示して協力を求める。 ２　ＰＴＡニュースを通して、引き続き保護者への情報発信につとめる。 ３　講習会等の実施により引き続き、更新を呼びかける。

学校関係者評価

実施日　平成２９年　２月１７日

学校関係者からの意見・要望・評価等
・進学選抜クラスの体制・システム作りも徐々に整ってきていると思われる。今後は、例えば、英語の外部試験利用など大学入試の変革に対応できるようにすることが期待される。 ・難関大学への合格者の増大が進学選抜クラスに与えられたもので、より一層の取組みをお願いするものです。 ・課題に対しての達成度が高く、特にコメントはないのですが、早い段階でアンケートを実施して対策を立てられるように検討したらどうですか。 ・家庭学習をもっと定着させるためには、個人の意識をもっと高めることが大切である。
・女子生徒の制服の部分的な見直しと早急な実施、学年別の運動着の色の変更を在校生の意見を十分取り入れて、ぜひ実施してほしいと思います。 ・生徒指導の面でスカートの指導は効果が出ていると思うが、まだ若干ではあるが、スカートの短い生徒もいるようである。特に運動部の生徒については、規律を守る指導をお願いします。 ・課題としても記述されているが、リーダー育成など、全校生徒の活発化（生徒の積極性養成）のための系統的教育プログラム構築に取り組む必要がある。今後、ＪＩＣＡ等の国際交流、企業のトップの講演、リーダー哲学講座など、を利用することも有用であると思われる。
・中学生への進路説明は評価できる。今後、学校説明会の積極的な開催や説明会に生徒がより深く関わることも効果的であると思われる。 ・同窓会としても、ホームページ等を通して会員に家族を含めた受検への協力要請をしていきたい。